



輝く女性を支える「育メン」。

「育メン」とは、家事や育児に積極的に取り組む男性のことを言います。働く女性を支えるためには、家庭内の男性のサポートが必要不可欠です。社会で活躍するお母さんをサポートする、安芸高田市の「育メン」をご紹介します。

楽しい
子どもの成長を見ることは

吉田町に家族4人で住む会社員新川泰宏さん。仕事から帰った後、時間があるときは、子どもたちの気が済むまで遊び相手をしてあげます。また、ご飯を作ったり、子どもと一緒にお風呂に入ることもしばしばあるのだそうです。

「共働きだと家事はするようになりませんね。子どもができたら家事や育児を手伝おうと前から考えていたわけではないけれど、自然と自分から家事や育児には協力しています」と新川さん。パートとして働く妻の美樹さんは、「家事や育児を自然に手伝ってくれるので助かります」と、笑顔で言います。

子どもに接するときは、遊ぶときはしっかりと遊んで、しつけをするときはきちんと叱る、ということを日々かけている新川さん。また、「子どもがこの前までできなかったことができるようになったり、新しい言葉を喋るようになっていくのを見るのが楽しいです」と育児の楽しさについて語ってくれました。

キャッチボールなどのボール遊びは羽空くんと羽珠くんが飽きるまで相手をする新川さん。子どもたちはもちろん、新川さんも親子で過ごす充実した時間を楽しんでいるようでした。

(左) 隴さん一家。左から、寧々ちゃん(5)、祐介さん(33)、咲衣ちゃん(1)、佳代さん(36)。(左上) 手作りの砂場で遊ぶ寧々ちゃんと咲衣ちゃん。(右上) 寧々ちゃんをお風呂に入れる隴さん。写真からも、父娘の仲睦まじい関係が伝わってくる。



(右) 新川さん一家。左から、泰宏さん(37)、羽珠くん(4)、美樹さん(36)、羽空くん(7)。(右下) 部屋の中で新川さんとキャッチボールをする羽空くん。子どもの安全のため、柔らかい球を使用。休みの日は川のほとりや小学校のグラウンドでキャッチボールしている。(左下) 新川さん一家の似顔絵。家族のあたたかい雰囲気がにじみ出ている。

夫婦一緒に家事・育児

「時間があるときは、パスタやピザ、れんこんのきんぴらなどの料理を作ります。独身の頃に比べて、作れる料理が増えましたね」と語るのは、美土里町に住む会社員隴祐介さん。妻の佳代さんと寧々ちゃん、咲衣ちゃんの家族4人で暮らしています。「共働きなら、夫婦が協力して家事をするのは当たり前」と母親から言われて育った隴さんは、一緒に家事、育児をすることは当然だと思っっているそう。料理のほかにも、子どもをお風呂に入れたり、おむつを替えたりなど、自分ができる家事、育児はなるべくするようにしているそうです。

家での子どもたちの遊び場を整えるため、自宅には隴さん手作りの砂場とウッドデッキがあります。「自分が作った砂場やウッドデッキで子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見ると嬉しいですね」と語る隴さんには優しい笑みがこぼれていました。介護士として働く佳代さんは、「祐介さんは私が気負いすぎないように、『ご飯は簡単なものでいいよ』とか、『息抜きに外に遊びに行ってもいいよ』と言ってくれます。ほかの家族

がどのように家事をしているのかは分らないけれど、祐介さんは家事をよくやってくれていると思います」と言います。隴さんのそういった心配りが、佳代さんの負担を和らげているのでしょう。夫婦協同の子育てが、子どもたちの伸び伸びとした成長を後押ししています。

近年、結婚しても、社会に出て働き続けるという選択をする女性が増えています。信念を持って仕事に取り組み女性は、社会を担う大切な戦力となります。

家庭を持つ女性が働き続けるためには、職場での理解や、家事を夫婦で協力して行うことが必要です。また、夫婦一緒に育児を行うことで、共に子育てをする喜びを感じることで、家族の絆を深めることにつながるのかもしれない。

社会で女性が輝くために、まずは、私たち一人ひとりが働く女性を応援する気持ちを持つことが大切なのではないでしょうか。

